



2022年 南西アジア交流年を記念し 各国を紹介する写真展を開催します

JICA 中部が運営するなごや地球ひろばでは、パネル展「世界一高いところへ」を開催いたします。2022年、日本は南西アジアの国々と友好関係の節目を迎えました。そして、これらの国と更なる交流を深めるために、2022年を「日本・南西アジア交流年」としています。本写真展では、各国の人々の姿や文化、ヒマラヤ山脈をはじめとした世界が誇る山々の悠然な姿、そしてJICAが南西アジアの国々と実施する国際協力事業を約50点の写真を通じてご紹介します。是非ご来館いただき、ご取材・情報掲載のほどお願いいたします。

【取材可能期間：開催期間中(9/8～12/18)】

各国の具体的な周年は以下のとおりです。(外務省発表)

日本・バングラデシュ外交関係樹立 50周年

日本・ブータン青年海外協力隊派遣取極締結 35周年

日本・インド外交関係樹立 70周年

日本・モルディブ外交関係樹立 55周年

日本・ネパール留学生交流 120周年

日本・パキスタン外交関係樹立 70周年

日本・スリランカ外交関係樹立 70周年

世界の多様性を知ることから多文化共生の実現を目指す

JICA 中部なごや地球ひろばがある愛知県名古屋市には、7,000人を超えるネパール出身の住民が暮らしています(2022年7月発表時点)。これは中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピンに次いで5番目に多い人数です。この地域とも関わりの深いネパールを含む南西アジア各国について、本写真展を市民の皆さまに理解を深めていただくきっかけとし、各国と日本とのつながりがより一層強くなることを目指します。

展示内容例 豊かな自然環境や個性輝く文化を有する地域



【写真 左:夕陽に染まるエベレスト(ネパール)、中央:働きながら学ぶ子どもたち(パキスタン)、右:ONODA 株式会社(愛知県豊橋市)とJICAの連携事業(バングラデシュ)】

また、展示と連動したイベントとして JICA 海外協力隊経験者をゲストスピーカーに迎え、9月18日(日)にモデルディブを紹介するイベントを開催します。現地の暮らしや文化の紹介、音楽の授業を通して行った国際協力体験談をお話します。

国際協力の歴史をふりかえる企画展「JICA's ROAD」を同時開催します！

この世界で暮らす私たち一人ひとりには、貧困、自然災害、紛争などにより、生命や生活を脅かされることなく、人間らしい生活を送る権利があります。すべての人が尊厳を持って生きられる世界の実現を目指し、日本は1954年から開発途上国に政府開発援助(ODA)による国際協力を行ってきました。JICAは、日本のODAの二国間援助を一元的に担う機関として、150以上の国と地域で事業を行っています。本企画展では、これまでのJICAの歩み、そして開発途上国と手を取り合い時代に合わせて実施してきた協力をご紹介します。相手に寄り添い一緒に作り上げる日本の国際協力の取り組みをご覧ください。

【展示概要】

展示期間：2022年9月8日(木)～2022年12月18日(日) 入場無料 開館時間：10:00-17:00

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日が休館)、10月4日、5日(改装のため臨時休館)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 市民参加協力課 吉田・秋山

TEL：052-533-0220 (代表)

e-mail：cbictpp@jica.go.jp